

他県における屋内こども施設調査

(富山県地方創生・地域振興課調べ)

他県事例 1

名称	ギャラクシティ	
所在地	東京都足立区	
開設年月	平成 6 年 4 月	
リニューアル年月	平成 25 年 4 月	
設置者	足立区	
運営・管理者	みらい創造堂	
施設利用料金	無料 ・プラネタリウム料金 大人：500 円 小中高生：100 円	
建物構造	RC 造 一部 SRC 造	
建築面積（延床面積）	15,219 m ² ※ホール、プラネタリウム等を備えた複合施設	
展示面積（延床面積）	2,500 m ²	
主な諸室	遊具、プラネタリウム、ホール、カフェ、アトリエ、親子交流スペース、授乳室等	
ターゲット層	子ども（0 歳～）・ファミリー	
コンセプト	「夢に出会い、夢に挑戦する」というテーマのもと、様々な遊びや体験活動を通じ、子どもたちが自ら可能性を発見し、成長することを目指した施設。	
コンセプトに基づく機能	室内体験遊具、プラネタリウム、ワークショップスタジオ、屋外コート	
機能を満たす遊具（代表例）	・スペースあすれちっく、がんばるウォール ・ものづくりや創作・表現に関するワークショップやイベント	
遊具の種類 （代表的な遊具 1～2）	1.大型ネット遊具	2.クライミング等
遊具の特徴	スペースあすれちっく （ネット遊具） 日本最大級の 3 階建ての大型ネット遊具。	がんばるウォーク （クライミング） 大人も楽しめる、高さ 7.5m の本格的なクライミング。
遊具の利用料	無料	
遊具の利用状況	最も館内での利用が高い。主に小学生低学年に人気があるが、年齢を問わず人気がある。 土、日曜日には行列ができる。	主に小学生全般の利用が多い。 土、日曜日は整理券を配布しているが、すぐに次回待ちの状態となる
遊具の利用者意見	・利用者の満足度としては、特段に高い。 ・土、日曜日は待ち時間が長くなるため、利用しづらい。 （利用者アンケートより）	・一度にできる人数、一日の回数を増やして欲しい。 （利用者アンケートより）

遊具の安全管理上の人員配置	常時 2～3 名を配置。	常時 3 名を配置。
遊具の管理者意見（メンテ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーター率が高い。 ・設置から年数がたち、耐用年数が近づいている。 ・コロナウイルスによる衛生管理が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置から年数がたち、老朽化が進んでいる。 ・コロナウイルスによる衛生管理が課題となっている。
周辺地域・施設との連携状況	地域の大学と連携して活動し、それぞれの大学が実験や工作のワークショップを提供。	
その他特記事項	科学館だった施設をリニューアルし、子ども施設とした。	

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1.スペースあすれちつく



2.がんばるウォール



他県事例 2

名称	ふくふくこども館	
所在地	山口県下関市	
開設年月	平成 26 年 4 月	
リニューアル年月	-	
設置者	下関市	
運営・管理者	下関こども未来創造ネット（共同事業体）	
施設利用料金	無料	
建物構造	S 造	
建築面積（延床面積）	2,676 m ² ※駅ビルの複合施設内の一部	
展示面積（延床面積）	1,662 m ²	
主な諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイランド（987.61 m²） ・交流スペース・クリエイティブランド（360.95 m²） ・多目的室（198.27 m²） ・こども一時預かり室（47.87 m²） ・相談室（48.70 m²） 	
ターゲット層	子ども（未就学児）、親子	
コンセプト	「次世代を担う子どもたちを多世代で育む」をコンセプトとした市民の交流と子育て支援の拠点施設。	
コンセプトに基づく機能	未就学児向けの室内遊具、工作コーナー、ごっこ遊びコーナー、こども一時預かり室、市民交流スペース	
機能を満たす遊具（代表例）	ボールプール、大型ネット遊具、ごっこ遊びができるプレイランド	
遊具の種類 （代表的な遊具 1～2）	1. ふくファミリー ボールプール	2. ゆらゆら関門橋
遊具の特徴	手足を伸ばしてのびのび遊べるふくファミリーの大きなボールプール。	関門橋をモチーフにしたゆらゆらの大型ネット遊具で、元気なからだづくりをサポート。
遊具の利用料	無料	
遊具の利用状況	利用は未就学児に制限	未就学児や小学生が利用
遊具の利用者意見	子どもが広いボールプールの中で、ボールを投げたり、泳いだり、のびのび遊ぶことができる。	大人は、外側から付いて、子どもの様子を見ることができ、安心して遊ばせることができる。
遊具の安全管理上の人員配置	プレイランド全体で 2～3 人、見守りスタッフが常駐。さらに、相談員が巡回している。	
遊具の管理者意見（メンテ等）	ボール洗浄機あり	ロープの締め直しが必要
周辺地域・施設との連携状況	イベントにおいて、各地域団体や周辺機関と連携。	
その他特記事項	駅ビルの複合施設内に整備	

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1.ふくファミリーボールプール



2.ゆらゆら関門橋



他県事例 3

名称	かがにこにこパーク	
所在地	石川県加賀市	
開設年月	平成 30 年 4 月	
リニューアル年月	-	
設置者	加賀市	
運営・管理者	加賀市スポーツ振興事業団	
施設利用料金	加賀市民：無料 市民以外：子ども（1歳未満除く） 400円 保護者など 300円 団体（20人以上） 300円	
建物構造	RC造 一部SRC造	
建築面積（延床面積）	1,717 m ²	
展示面積（延床面積）	1,324 m ²	
主な諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児用遊具エリア（357 m²） ・幼児用遊具エリア（205 m²） ・児童用遊具エリア（171 m²） ・フリースペース（236 m²） ・ネット遊具エリア（355 m²） ・ランニングコース（219 m²） ・ギャラリー（215 m²） 	
ターゲット層	子ども（0歳～小学生まで）	
コンセプト	小学生までの様々な年齢の子どもが安全に、安心して、楽しく、天候を気にせず思いっきり遊べる環境を目指した施設。	
コンセプトに基づく機能	室内体験遊具（年齢に応じ4つのエリアで構成）、親子のふれあいスペース、多目的ルーム	
機能を満たす遊具（代表例）	アドベンチャーエリア、チャレンジエリアでの体験大型遊具	
遊具の種類 （代表的な遊具1～2）	1. 大型ネット遊具	2. 複合型遊具
遊具の特徴	吹き抜けを活用した大型ネット遊具	すべり台、クライミングウォールから構成される複合遊具
遊具の利用料	入場料に含む	
遊具の利用状況	3歳から小学校低学年の利用者が多い	3歳から6歳くらいの利用者が多い
遊具の利用者意見	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足度が高い。 ・1Fと2Fで温度差ができやすく、季節によっては暑いとの声が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫次第で色々な遊び方ができ面白い。 ・すべり台など部分的に低年齢のこどもを遊ばせることもできる。

遊具の安全管理上の人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・常時一人は職員を配置 ・防犯カメラ映像を事務所内モニターで確認 ・職員による定期巡回 	
遊具の管理者意見（メンテ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の目玉となっているので導入してよかった。利用者の満足度も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表面材や金属塗装の剥がれ、木製品の破損あり
周辺地域・施設との連携状況	中央公園と連動したイベント等を実施。	
その他特記事項	加賀市中央公園の体育館をリニューアルしてオープン。	

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1.大型ネット遊具



2.複合型遊具



他県事例 4

名称	こども創造センター	
所在地	新潟県新潟市	
開設年月	平成 25 年 5 月	
リニューアル年月	-	
設置者	新潟市	
運営・管理者	いくとびあ食花運営グループ	
施設利用料金	無料	
建物構造	S 造 一部 RC 造	
建築面積 (延床面積)	2,990 m ² ※4F 建て複合施設の一部	
展示面積 (延床面積)	1,163 m ²	
主な諸室	ものづくりひろば、ホール、タワー型展示、展示スペース、保育ルーム	
ターゲット層	子ども	
コンセプト	造形活動・創造的遊び・交流活動を通して、子どもたちの豊かな感性・考え方・表現力・創造力・社会性などの「生きる力」を伸ばし、育むことを目的とした施設。	
コンセプトに基づく機能	室内体験遊具 (年齢別にフロア分けて構成)、美術・工芸・陶芸体験コーナー、ギャラリー、舞台ステージ	
機能を満たす遊具 (代表例)	きのぼりアスレチック、クライミングウォール、にじのすべり台	
遊具の種類 (代表的な遊具 1～2)	1.きのぼりアスレチック	2. にじのすべりだい
遊具の特徴	6～12 歳を対象として、のぼり方にいくつものパターンがあり、子どもたちの多様な遊びを引き出す遊具。	3～12 歳を対象とした、全身で色を感じながら滑りおりる大型のすべり台。
遊具の利用料	体験活動等は一部有料	
遊具の利用状況	創作体験件数/人数 = 令和元年度 : 4,554 件/117,149 人 団体利用件数/人数 = 令和元年度 : 395 団体/15,294 人	
遊具の利用者意見	施設満足度 99%、接遇満足度 98%、リピーター度 84% 「もっと遊戯施設にあるような遊具を」とか「大きい子向けの遊具を」という声もある。	
遊具の安全管理上の人員配置	館内職員が交代で見回り。	
遊具の管理者意見 (メンテ等)	現在、「新潟市子どもの遊び場」のネット検索で第 1 位。 出会いを大切にするスタッフのスキルも向上している。	

<p>周辺地域・施設との連携状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・団体・教職員の造形教育研修等、多目的に利用できる場を提供。 ・複合エリア内の他の機能と連携した団体向けプログラムの実施等。
----------------------	---

<p>その他特記事項</p>	<p>複合施設内に整備</p>
----------------	-----------------

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1.きのぼりアスレチック



2.にじのすべりだい



他県事例 5

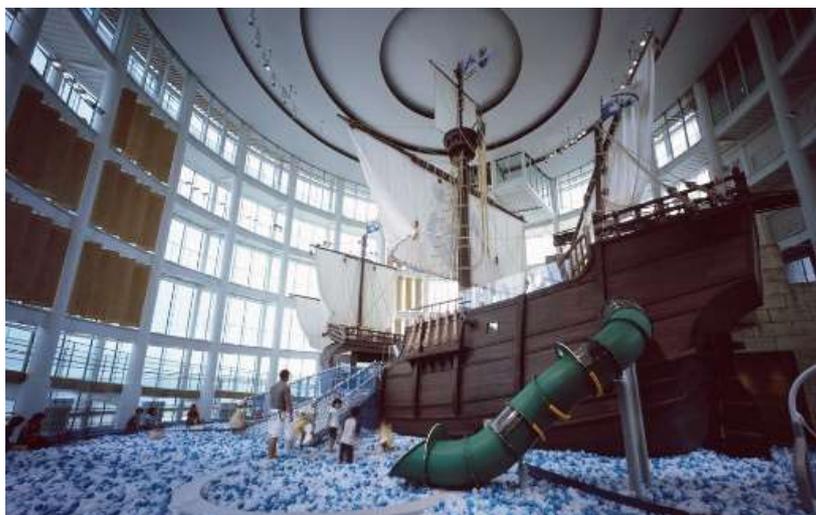
名称	福井県こども家族館	
所在地	福井県大飯郡	
開設年月	平成 20 年 8 月	
リニューアル年月	-	
設置者	福井県	
運営・管理者	おおい町	
施設利用料金	大人 : 210 円 小・中・高生 : 100 円	
建物構造	S 造	
建築面積 (延床面積)	3,902 m ² ※一部 4F 建て	
展示面積 (延床面積)	2,200 m ²	
主な諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグバレル〈あそび探検ゾーン〉(1,200 m²) ・展望ギャラリー (200 m²) ・工房ゾーン (300 m²) ・交流ゾーン (500 m²) 	
ターゲット層	子ども・ファミリー	
コンセプト	「手づくり」と「冒険」をテーマにした体験型児童館として、館内の工房や遊具、展示物は、子ども同士・親子や家族と一緒に体験することを重視して作られている。	
コンセプトに基づく機能	室内体験遊具 (子どもたちの発達段階に応じた遊びを提供)、工房ゾーン、乳幼児と親子のための交流サロン	
機能を満たす遊具 (代表例)	交流ゾーン、あそび体験ゾーン	
遊具の種類 (代表的な遊具 1 ~ 2)	1. ボールプール	2. こども探検号
遊具の特徴	2~3 階までの吹き抜けを活用した大型遊具 (日本最大級)	2~3 階までの吹き抜けを活用した大型帆船内の各種遊具
遊具の利用料	あそび探検ゾーン (2F・3F) 利用料金に含む。	
遊具の利用状況	2. こども探検号と併せ、館内での利用者が最も多い。	1. ボールプールと併せ、館内での利用者が最も多い。
遊具の利用者意見	・利用者満足度は総じて高い。	
遊具の安全管理上の人員配置	他の遊具も兼ね、常時 2 名が配置されている。	
遊具の管理者意見 (メンテ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・県外(主に近隣京都府)利用者のリピーター率が高い。 ・ボールの衛生管理が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館から約 12 年が経過し、設備機器等老朽化が顕著。 ・体験型遊具等の映像音響系機材が作動不可となっている。
周辺地域・施設との連携状況	子育てに関し相談できる機会を定期的に設けている。	
その他特記事項	ミュージメント、ホテル、グルメ、ショッピング、ヒーリングなどで構成される複合レジャー空間内に位置する。	

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1. ボールプール



2. こども探検号



他県事例 6

名称	豊橋市こども未来館 ここにこ	
所在地	愛知県豊橋市	
開設年月	平成 20 年 7 月	
リニューアル年月	-	
設置者	豊橋市	
運営・管理者	ニコリン共同事業体	
施設利用料金	大人 : 200 円 小・中・高生 : 100 円	
建物構造	R C 造一部 S 造	
建築面積 (延床面積)	7,215 m ² ※2F 建て。展示室、研修室等を含む	
展示面積 (延床面積)	2,511 m ²	
主な諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント広場 (659.89 m²) ・ ものづくり工房 (93.83 m²) ・ キッチン工房 (114.54 m²) ・ スタジオ A (163.46 m²) ・ スタジオ B (41.74 m²) 	
ターゲット層	子ども (幼児～小学生)、親子	
コンセプト	「ささえる」「ためす」「ふれあう」「あらわす」を基本コンセプトとして、子どもの健やかな成長を育む支援や相談を行うとともに、子どもを中心に市民が交流し活動する多世代交流の場。	
コンセプトに基づく機能	乳幼児向け大型木製遊具、親子講座、仕事体験プログラム、市民交流エリア	
機能を満たす遊具 (代表例)	体験セット	
遊具の種類 (代表的な遊具 1～2)	1. 屋外木製遊具	2. ジャングルタワー
遊具の特徴	屋外設置の大型木製遊具。	屋内設置の複合型遊具。
遊具の利用料	入場料に含む	
遊具の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生に限らず幅広い年齢層が利用する。 ・ 団体入場者にも対応できる広さがあり人気。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に小学校高学年に人気。 ・ 屋内のため全天候に対応しており休日は混雑している。
遊具の利用者意見	利用者アンケートなし	
遊具の安全管理上の人員配置	固定の配置はないが定期的な巡回を行っている。	
遊具の管理者意見 (メンテ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化が進んでおり維持修繕費が高額 ・ 感染症拡大予防の観点から消毒や利用制限の対応が必要 	
周辺地域・施設との連携状況	地元の職人などが講師となり、仕事体験プログラムを実施。	
その他特記事項	-	

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1.屋外木製遊具



2.ジャングルタワー



他県事例 7

名称	釧路市こども遊学館	
所在地	北海道釧路市	
開設年月	平成 17 年 7 月	
リニューアル年月	-	
設置者	釧路市	
運営・管理者	一般財団法人釧路市民文化振興財団 NPO法人こども遊学館市民ステージの共同事業体	
施設利用料金	未就学児：無料 小中学生：220 円、高校生：380 円 大学・一般：980 円 ※プラネタリウムとのセット料金	
建物構造	S 造	
建築面積（延床面積）	5,883 m ² ※4F 建て、工房・プラネタリウム含む	
展示面積（延床面積）	1,814 m ²	
主な諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 階さんさんひろば (46.40 m²) ・ 1 階あそびらんど (818.6 m²) ・ 3 階ふしぎらんど (846.63 m²) ・ 4 階ものしりらんど (102.51 m²) 	
ターゲット層	子ども	
コンセプト	科学知識の普及啓発を図るとともに次代を担うこどもたちが五感を通じた「遊び」、「学び」の多くの体験から豊かな感性、創造力、知的好奇心を高め各世代の人々がこどもたちのために協働し互いの交流を深め、地域文化の発展に寄与することを目的としている。	
コンセプトに基づく機能	室内体験遊具、実験工房、創作工房、プラネタリウム	
機能を満たす遊具（代表例）	屋内砂場、プラネタリウム、ネットジャングル、ワークショップコーナー	
遊具の種類 （代表的な遊具 1～2）	1. ネットジャングル	2. 砂場
遊具の特徴	大型のネット遊具。長さは 20 m、内部は 2 階建てになっており、体を思いきり動かして遊ぶことができる。（対象年齢 5 歳以上、定員 40 名）	国内最大級の規模を誇る屋内砂場。季節を問わず砂遊びを楽しむことができ、子どもたちの五感の発達と創造力を育む遊具。（年齢制限なし）
遊具の利用料	入場料に含む	
遊具の利用状況	幼児から小学校高学年まで幅広い年齢の子どもたちに人気	親子の利用が多い
遊具の利用者意見	大人から離れて秘密基地のように子どもだけの空間を楽しめるのも魅力。	屋内なので、清潔。安心して遊ばせられる。

遊具の安全管理上の人員配置	1名（フロア担当が兼務）	2名（総合受付担当が兼務）
遊具の管理者意見（メンテ等）	毎日、フロア担当者による清掃（掃除機でホコリや砂の除去、雑巾がけなど）を行い、ロープのゆるみやほつれなどが無い点検を行っている。	毎日、砂場の整地（異物除去含む）、水撒き、足洗い場の清掃が必要。定期的に砂の除菌と細菌検査を行っている。開館から15年経過し、砂の量が減少している。
周辺地域・施設との連携状況	ボランティアスタッフ制度を用いて、地域の大人が子どもたちに遊びや学びを教える機会を設けている。	
その他特記事項	—	

<施設・設備の写真>

○施設の様子



1. ネットジャングル



2. 砂場



他県事例 8

名称	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館	
所在地	福島県福島市	
開設年月	平成 17 年 7 月	
リニューアル年月	-	
設置者	福島市	
運営・管理者	公益財団法人 福島市振興公社	
施設利用料金	無料 (プラネタリウムは有料)	
建物構造	不明	
建築面積 (延床面積)	9,886 m ² ※4F 建て、ホール・学習室・展示室等を含む	
展示面積 (延床面積)	1,500 m ²	
主な諸室の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・わいわいホール (544.7 m²) ・子どもライブラリー (447.6 m²) ・のびのび広場 (296.5 m²) ・常設展示室 (388.6 m²) ・プラネタリウム (281.2 m²) 	
ターゲット層	子ども (未就学児～)	
コンセプト	子どもの創造力や探求心、好奇心を引きだし、楽しみながら学べる教育文化複合施設で、子どもたちの「夢」につながる豊かな出会いを提供することを目指す。	
コンセプトに基づく機能	ライブラリー、交流コーナー、ワークショップ室、プラネタリウム、冒険の海をテーマとした常設展示室	
機能を満たす遊具 (代表例)	チャレンジウォール、常設展示室、プラネタリウム、のびのび広場、ワークショップ	
遊具の種類 (代表的な遊具 1～2)	1. チャレンジウォール	2. のびのび広場
遊具の特徴	高さ 7.4m の本格的なクライミングウォール。子どもから大人まで利用可能。	未就学児を対象とした、ボールプール、アクションジムなどたくさんの遊具に囲まれた、親子で楽しめる広場。
遊具の利用料	無料	
遊具の利用状況	未就学児や小学校低学年児童がおもに利用	
遊具の利用者意見	単に施設を体験するだけではなく、楽しみながら、学習的要素も体験できる。	
遊具の安全管理上の人員配置	常勤 4 名 (土・日・繁忙期は別途人員配置)	
遊具の管理者意見 (メンテ等)	常設展示室内で定期的にワークショップを実施するなど、既存のものを活かした運営を心掛けている。	

周辺地域・施設との連携状況	ボランティアスタッフ制度を用いて、地域の大人（高校生・大学生も含む）が館内の見守りやイベント企画・参画などを行う機会を設けている。
その他特記事項	—

<施設・設備の写真>

○施設の様子

1.チャレンジウォール



2.のびのび広場

